

公共交通人口カバー率の考え方

本町内には、鉄道、路線バス、ひまわりバスによる地域公共交通ネットワークが形成されており、居住人口の約93%を駅もしくはバス勢圏でカバーできています。また、駅もしくはバス勢圏内にあっても、丘陵地等の影響もあり地域公共交通の利用が困難な地域も存在しています。

※交通不便地域：鉄道駅、バス停留所から一定距離離れており、地域公共交通を利用しにくい地域のこと。ここでは鉄道駅から800m、バス停留所から300m離れた地域を交通不便地域としています。

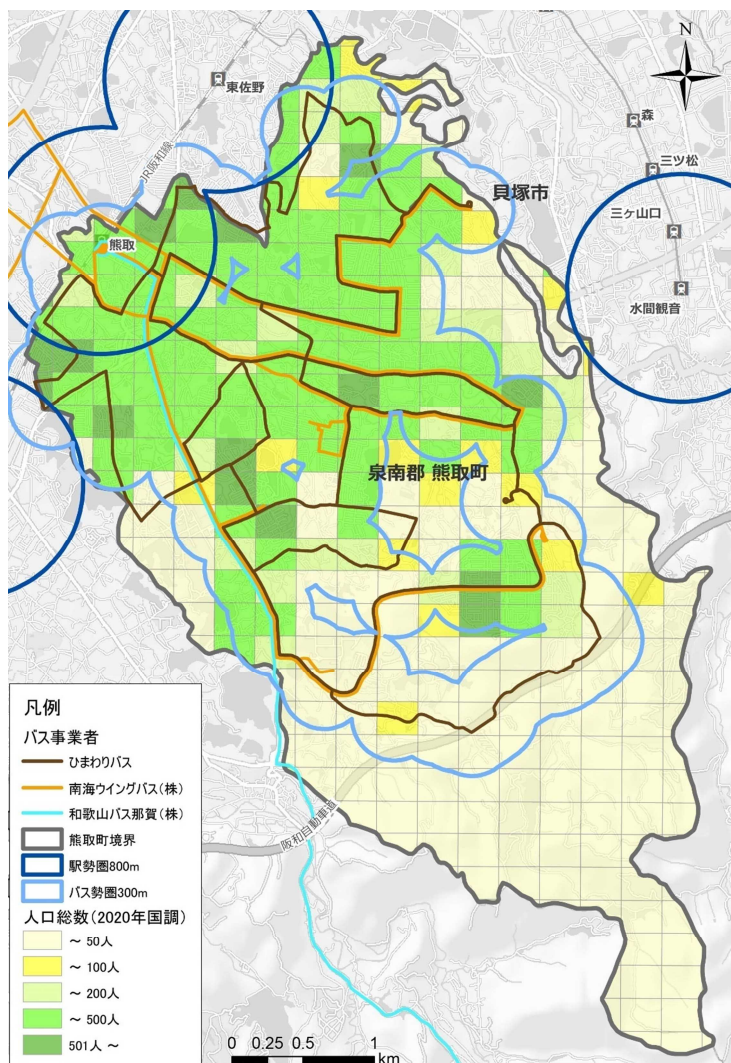
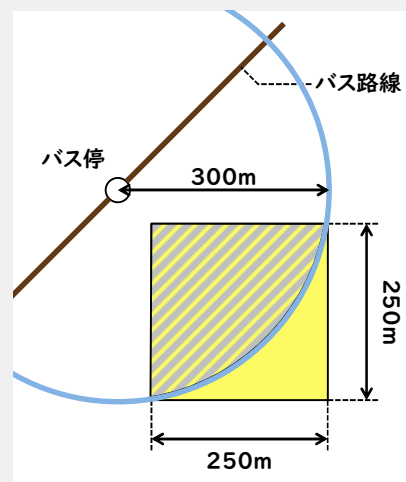


図 本町内の地域公共交通における人口カバー圏域

人口100人のメッシュ□の一部がバス停圏○に含まれている場合の計算



①メッシュのうちバス停圏に含まれる面積の割合を計算

$$\frac{\text{約}44,020\text{㎡}}{62,500\text{㎡}} = \text{約}70\%$$

②メッシュの人口を重複している面積で按分*する
(※メッシュ内に人口が均一に分布しているとみなして計算)

$$\begin{array}{c} \text{メッシュ人口} \\ 100人 \end{array} \times \frac{\text{約}70\%}{1} = \begin{array}{c} \text{カバー人口} \\ 70人 \end{array}$$

図 カバー人口の算出イメージ

$$\frac{\text{カバー人口の総和}}{\text{本町の全人口}} = \text{人口カバー率 (約}93\%)$$

図 人口カバー率の算出イメージ